おおたけの主張
大竹市　　期間　平成１３年１１月１日（木）～１１月１８日（日）

○　主な取組み

①　事前キャンペーン

・　広島県広島教育事務所のキャラバン隊と連携して「大竹祭」（１０月２１日）の日に，大竹駅前通りに横断幕を張り幟を立て，大竹市教育委員会および大竹高等学校・市内全小中学校の校長・教頭をはじめＰＴＡ役員がチラシ５００枚を配布し市民への呼びかけをした。

・　マスコミにこのキャンペーンを紹介し新聞に掲載された。（西広島タイムス）

②　学校へのサポート

今年度は新学習指導要領実施に向けて国際理解教育に関するものが増えてきた。小学校の要請により外国人ゲストティーチャーとＡＥＴを派遣した。

「西広島タイムス」696号から転載(平成13年10月26日発刊)

○　地域の声・声・声

「子どもたちと楽しい活動ができ良い思い出ができた。」「今の学校は昔からは想像できない教育をしているので興味深いものであった。」「給食がおいしかった。」「保護者のステージ発表が圧巻かつ感動的だった。」等，子どもとともに活動したこと，心の触れ合いがもてたことが好評であった。

○　明日にむかって

①　今年度の成果

・　初年度と比べ行事中心の参観から授業参観へと内容が拡充してきている。今年度の特徴は「文化祭などの行事」と「総合的な学習の時間などを中心とした授業」の二本立てにより実施した学校の増加にある。

②　来年度への課題と展望

・　「“学校へ行こう”週間」といいながら実際には各学校１～２日間の公開となったので，せめて１週間は地域住民に情報発信ができるような取組みを進める必要がある。

・　新学習指導要領実施にともなって「基礎・基本の徹底」と「オリジナリティ」が学校に強く求められることからも，それが具現化された大竹市内１２の小・中学校「１２色」の取組みが公開できるよう，文字通り特色ある学校づくりを推進していきたい。

・　小・中学校の連携による公開も拡充し児童と生徒との交流も深めていきたい。

・　キャンペーンをより充実するために，「市広報での呼び掛け」「マスコミでの紹介」等の取組みを強化していきたい。

・　広島県広島教育事務所との連携を密にし，「ひろしま教育の日」の周知にも努め，この週間を充実発展させていきたい。